

関東選抜の出場権を力に変えて
女400m 西村 男走幅跳 高橋

繰り上がりではありますが、関東選抜への出場権を獲得しました。西村は、1日で400mを3本走る経験が初めてでしたが、何とか3本ともまとめることが出来ました。しかし、その中でベストを更新する1本が出せなかったのが課題です。高橋も、ファールからのスタートになってしまい、いい流れを作れませんでした。まだまだ粗削りではありますが、能力は高いので、それを結果として表現できるかです。

○西村(2):「400mは結果としては繰り上げという形で関東選抜の出場権を得ることはできましたが、自己ベストも出せず、やってきたことを出し切れなかったのが悔しさの残るレースでした。地区大会からの課題であった、無理にスピードを上げようとすると走りかたがつくという部分は、リラックスして加速することで修正することができました。しかし、入りのスピードがまだ遅いため速いリズムのまま再加速を入れることができず、最後に追い上げることができなかったです。関東選抜で自己ベストを出すためにはとにかくトップスピードを上げることが最優先だと思うので、今やっている練習のどこの意識を変えたら走りに繋がってくるのかをもう一度考えて、今シーズンラストレースに自信をもって臨めるよう、残りの練習もモチベーションを高くもって取り組みます。」

○高橋(1):「今回は1本目の跳躍でファールではありながらも7mに近い位置まで飛べたことで、目標としていた7mを出せる力が整ってきたと感じました。しかし、それから思うように記録は伸びず、準備不足により不甲斐ない結果となってしまいました。ですが、これまでの課題の間延びはかなり直せ、動き自体は悪くなかったと感じるため、関東ではまずは6m90以上を跳び自己ベスト更新、そして7m以上も狙っていきたいと思います。」



決勝での堂々とした走りです県入賞です
女800m 福田 女1500m 石井

長距離の2人も、立派な県大会入賞です。2人とも、決勝では先頭でレースを引っ張るなど、強い選手のレースをしたと思います。関東選抜には届きませんでしたが、駅伝には必ずつながります。長距離にとっては、これから本番です。

○福田(2):「1日目の1500mで自分の目標に全く届かなくて、もう今回はだめかと思ったけど、800mの予選では1500mの反省を活かして前に出れたので自分のペースで余裕を持って走ることができました。準決勝でもラストが少し危なかったけどまだ余裕があって、決勝は自信を持って挑むことができました。ラストパートでは勝てないので最初から前でレースを進めようと思って最初の100mからしっかりスピードを出していい位置でレースを進めることができました。ラスト100mまで関東が見えてたからこそ本当に悔しかったし、関東に行きたいという思いがもっと強くなりました。学総では絶対に関東大会に出場します。ここからは駅伝に切り替えて、みんなで目標を達成できるように頑張りたいです。」

○石井(1):「今回出場した1500mで7位に入賞しました。決勝は初めから先頭に出て引っ張っていく展開でしたが、1000m通過から集団に飲み込まれてしまい、順位が大きく下がってしまったのが反省です。しかしそこから立て直して入賞まで持っていくことができて良かったです。予選も決勝も自分でレースを作るという経験ができたけど、ペースを作る難しさを感じ、課題だと思いました。今回の経験を次に繋げていきたいです。ただ3000mは思うような走りができず、悔いが残るレースでした。次の駅伝ではリベンジをしてチームに貢献したいです。」



国スポ・駅伝・関東選抜
ありがたい忙しさ、の牛王田

国スポに出場予定の牛王田は、今回1500mのみの出場です。例年、国スポが近いと、県大会は欠場するケースが多いので、今年は出場出来て幸運です。レースは、開始から先頭を引っ張る立派なもので、記録的にも自己ベストなので、連戦になりますが、関東選抜まで走り抜きたいです。

○牛王田(1):「県新人は1500mに出場しました。予選は余裕を持った走りをして、残り100mで抜かされてしまいましたが、しっかり着て決勝へ進めました。決勝では自分でレースを作り、良い展開で行けましたが、最後の直線で抜かされてしまい、そこから巻き返せず3位という結果でした。木曜の三番に入るというのは達成できて良かったですが、最後のスパートで負け、悔しい思いもありました。これから国スポ、駅伝、関東選抜とレースは続きますが、どれも自分の実力を十分発揮して目標達成に向け頑張ります。」



国スポ・駅伝・関東選抜
ありがたい忙しさ、の牛王田

4×100mRで1位になり、やはり4×400mRも出場権を獲得しなければならなかったと思います。しかし、4位になってしまいました。学総も県大会で7位。今回も4位で、どちらもあと一つです。それを勝ちきれないのが現状です。何としても、来年は勝ち切ります。

○1走 西村(2):「今年の学総も今回の新人戦もあと1歩というところで関東の権利を逃してしまい悔しさと申し訳ない気持ちでいっぱいです。決勝では1走に選んでいただき、個人の400mでの課題を修正して1位で帰ってくることはできましたが、これ以上に爆発的な走りをして更に余裕をもってバトンを渡すべきでした。今シーズンはマイルを走ることは無いので、冬みんなで強くなって春こそもっと上のラウンドに進み、各大会を笑顔で締めくくれるように全力で頑張ります。」

○2走 真瀬(1):「初めてのマイルリレーだったため、とにかく前に離されないことだけを意識して走りましたが接触を恐れて加速しきれず、前にもついて行くことが出来ませんでした。自分のスピードを400mに活かすことができず不甲斐ない走りをしてしまい、申し訳ない気持ちでいっぱいです。自分の強みである前半の加速を400mでも活かし、後半もしっかり身体が動く走りができるようになるために、まずは身体の状態を整えて冬季練習を積み、成長した自分になってマイルリレーの舞台に戻ってきます。」

○3走 藤原(2):「1日目の個人の400mでは、不安な気持ちが大きくて自分の力を全く出せなかったが、最終日のマイルでは、予選決勝ともに強い気持ちを持って本番に挑めて、納得のいく走りができた。それでも、関東にはあと少しで届かず、とても悔しかった。しかし、県決勝という大きな舞台で自信をもって走れたことで、精神的な成長を感じることができた。来年の春は、絶対に関東、インターハイに進んで、今までの悔しさを晴らす走りをする。」

○4走 奥澤(2):「関東選抜の出場権を獲得することを目標にしていたので、目の前で逃してしまい、悔しかったです。自分の走りとしても満足行くものではなく、また力不足を感じました。来年の春に同じ思いをしないように、冬季で力をつけていきます。」



ご声援、ありがとうございました！



2種目の優勝を含め、7種目で関東選抜へ

新人県大会報告②